

自主企画の検討状況について

すみだ五彩の芸術祭における自主企画は、実行委員会が主体となってアーティストを招聘し、墨田区の歴史や文化、地域資源を活かした多様な企画を展開するものである。現在、具体化している自主企画は以下のとおりであり、最終的には、30件程度の企画を予定している。

1 古からの美しき佇まいへ、今日の感性と

墨田区内の歴史的建造物において、古美術品と現代アート作品を組み合わせた展示を検討している。琳派など日本の美を現代的に再構成する作家・山口藍氏らの参加を想定しており、歴史的建造物の魅力を現代の感性と重ね合わせ、地域文化の継承と新たな価値創出を図る。



2 写真展示企画：すみだのひとびと

写真家・蔵真墨氏による、墨田区に暮らす人々の自然な姿を捉えた写真展示を検討している。撮影地域の集会所や町会館を会場として展示を行い、撮影時のエピソードや文章も併せて紹介することで、地域の多様な個性と魅力を発信する。



3 本所七不思議をテーマにした「パラレルワールド」

現代美術家・岡田裕子氏による、本所地域に伝わる「七不思議」を題材とした現代版アートプロジェクトを検討している。

スマートフォンの音声ガイドを通じて、まちを歩く周遊型企画として、フィクションと現実が交差する新たなまち歩き体験を想定している。



4 向島や鐘ヶ淵辺りを巡るツアー形式の演劇作品

向島地域等を舞台に、土地の記憶や音をテーマとしたツアー形式の演劇作品を検討している。鑑賞者がスマートフォンを頼りにまちを歩きながら物語に没入する体験型の演劇として構想しており、地域の風景や音を新たな視点で体感する機会を創出する。



5 Dance in SUMIDA : 山崎広太×「隅田川」×すみだの人々

隅田川を題材に、地域の人々との交流やリサーチを通じて創作される新作ダンス作品を検討している。すみだパークシアター倉や白髭防災団地など、区内の特色ある場所を舞台とした公演を構想しており、演劇のまち・すみだの文化的蓄積を活かした取組として期待される。



6 扉座「歓喜の歌」すみだバージョン

劇団扉座の横内謙介氏による脚本・演出のもと、墨田区を舞台とした「歓喜の歌」を上演する企画を検討している。

区民オーディションによる出演や、キラキラ橋商店街との連携を通じて、地域の人々が主体的に関わる舞台作品を目指す。



7 ソーシャルワークアートアクション

地域福祉と文化芸術を結びつける取組として、福祉施設等との協働によるアートプロジェクトを検討している。アーティストによるワークショップや展示、アウトリーチ活動などを通じ、地域共生社会の新たな可能性を探る試みとして位置付けている。

企画の名称や実施内容については、今後変更の可能性あり。